

千葉県 農林水産物輸出活性化 取組方針（案）

令和6年__月

千葉県

目次

第1章 はじめに

- 1 取組方針策定の趣旨 1
- 2 現在の取組方針 2
- 3 本方針の位置づけ 3
- 4 輸出重点品目設定の考え方 4
- 5 輸出額目標設定の考え方 5

第2章 千葉県産農林水産物の輸出ポテンシャル等

- 1 輸出ポテンシャル品目／輸送手段 7
- 2 輸出ターゲット国・地域 12

第3章 成田市場、成田空港を活用した輸出の現状と課題

- 1 成田空港と羽田空港の便の優位性比較 15
- 2 成田空港と羽田空港からの輸出実態比較 16
- 3 成田市場を活用した輸出の現状と課題 17

第4章 新たな千葉県の輸出活性化取組方針案

- 1 輸入規制に対する対応 20
- 2 生産段階の支援 21
- 3 流通段階の支援 22
- 4 販売段階の支援 23
- 5 成田市場、成田空港を活用した輸出促進 25

第1章 はじめに

1 取組方針策定の趣旨

- ・ 昨今の輸出環境の変化を踏まえ、新たな取組方針を策定します。
- ・ 具体的には
 - (1) 国内の人口減少、海外の飲食料市場規模の拡大
 - (2) 成田市場開場（令和4年1月）⇒本格稼働
 - (3) 台湾の輸入規制緩和（令和4年2月）
 - (4) EUの日本産食品の輸入規制撤廃（令和5年8月）
 - (5) 新型コロナウイルス感染症による各種制限の緩和等の変化を捉え、
輸出を活性化させるための取組方針を策定し、稼げる農林水産業を実現していきます。

第1章 はじめに

2 現在の取組方針

千葉県農林水産業振興計画（令和4年度～7年度） ※別添参照

- ・輸出額目標：県産農林水産物・加工品の輸出額 2 2 5 億
- ・輸出重点品目、有望品目
- ・取組方針：
 - （1）千葉県の強みを生かした輸出品目による海外市場への展開
 - （2）販路拡大に向けた戦略的プロモーション
 - （3）輸出にチャレンジする産地等への支援
 - （4）成田市公設地方卸売市場を活用した輸出促進

第1章 はじめに

3 本方針の位置づけ

- 千葉県農林水産業振興計画（令和4年度～7年度）を上位計画とします。
- 千葉県産農林水産物輸出活性化検討会議での意見、
千葉県産農林水産物輸出活性化支援調査の結果を踏まえて策定します。
- 輸出環境の変化等に合わせ、随時検討を加えていくものとします。
- 本取組方針を反映し、
次期千葉県農林水産業振興計画（令和8年度～11年度）を策定します。

第1章 はじめに

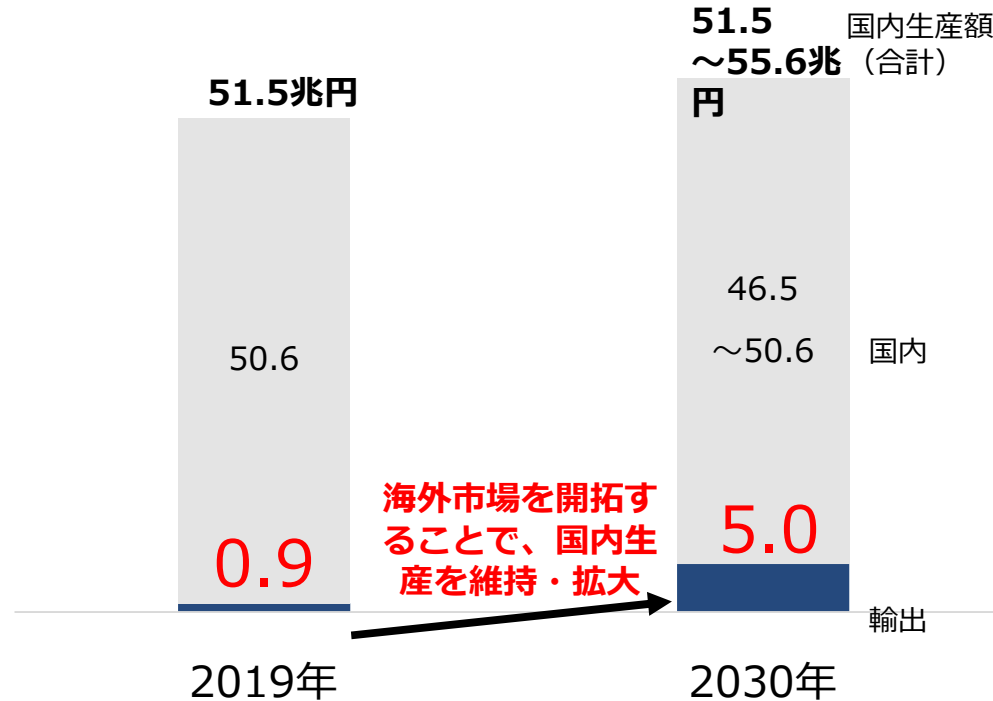
4 輸出重点品目設定の考え方

- 現行の振興計画で定められている重点品目に、輸出ポテンシャル品目を加え、令和6年度、7年度において、輸出の可能性を検証します。
- それらを踏まえ、次期千葉県農林水産業振興計画（令和8年度～11年度）において、輸出重点品目として設定し、重点的に輸出の拡大に向けた取組を実施します。

第1章 はじめに

5 輸出額目標設定の考え方

- 国では、**国内生産額の10%を海外市場へ販売**することで、
2030年（令和12年）までに農林水産物・食品の輸出額 **5兆円**を達成しようとしています。
- 成田市場は、2030年度**（令和12年度）に市場取扱高約203億、うち**輸出100億の計画**を立てています。



資料：農業：農業総産出額（生産農業所得統計）
林業：木材・木製品製造業（家具を除く）の製造品出荷額等（工業統計）及び栽培きこの類の産出額（林業産出額）の合計
漁業：漁業産出額（漁業産出額）
食品製造業：国内生産額（農業・食料関連産業の経済計算）
注1：食品製造業の原料の一部に農業、林業、漁業生産物が含まれる。
注2：2030年の国内生産額は試算値

第2章 千葉県産農林水産物の輸出ポテンシャル等

1 輸出ポテンシャル品目/輸送手段

千葉県において、どの品目が輸出ポテンシャルがあるのか、について

- (1) 日本からの輸出額上位品目
- (2) 県内の産出額（全国シェア/順位）
- (3) 輸出実現性（輸出を志向する生産者がいるのか等）
を掛け合わせて分析（令和3年時点）

輸送手段については、賞味期限と単価を掛け合わせて分析

⇒賞味期限10日以内、かつ、単価 約1000円/kg以上のものが航空輸送に適しています。

※このほか輸出のロット等にも輸送手段が左右される。

⇒以上より、千葉県の輸出ポテンシャルのある品目は以下のとおりです。

	航空輸送	海上輸送
農産物	いちご、メロン 切花	さつまいも、なし、米、 植木、その他野菜
水産物	キンメダイ、アワビ、 その他鮮魚（冷蔵を想定）	サバ類、カツオ、マグロ、 イワシ類（冷凍を想定）※漁獲量に輸出額が依存する品目
畜産物		鶏卵、（牛肉、豚肉（冷凍を想定）） ※県内の輸出認定を受けた食肉センターの整備や 国内の豚熱の清浄化等の条件付きの品目

(参考) 県産農林水産物のポテンシャル

青果物は、いちご、さつまいも、メロン、なし、その他野菜

有望品目	国の輸出 重点品目	千葉県産出額	日本産の輸出額	有望品目	国の輸出 重点品目	千葉県産出額	日本産の輸出額
		(2021, シェア%)	(2021, 億円)			(2021, シェア%)	(2021, 億円)
りんご	✓	- 0%	162億円	キャベツ		全国3位 8%	3億円
ぶどう	✓	- 0%	46億円	大根		全国1位 12%	2億円
いちご	✓	全国10位 3%	41億円	にんじん		全国2位 21%	0.2億円
ながいも	✓	全国9位 0.1%**	23億円	トウモロコシ (スイートコーン)		全国2位 10%	0.3億円
さつまいも	✓	全国2位 19%	23億円	さといも		全国2位 13%	0.002億円
もも	✓	- 0%	23億円	すいか		全国2位 12%	0.4億円
メロン		全国8位 5%	11億円	落花生		全国1位 88%	0.01億円*
かんきつ	✓	- 0%	11億円	かぼちゃ		全国8位 1%	1億円
なし		全国1位 11%	10億円	ハウレンソウ		全国4位 8%	0.02億円
かき		- 0%	4億円	ばれいしょ		全国5位 2%	0.3億円

日本からの輸出額上位10位

その他 千葉県の産出額上位品目

(参考) 県産農林水産物のポテンシャル

水産物は、サバ類、カツオ、マグロ、イワシ類、キンメダイ、アワビ、その他鮮魚

有望品目	国の輸出 重点品目	千葉県産出額 (2021, シェア%) <small>※シェアは県内事業者の水揚額で整理</small>	日本産の輸出額 (2021, 億円)
ホタテガイ	✓	- 0.0%	639億円
ブリ (養殖含む)	✓	全国9位 14%	246億円
サバ類		全国6位 7%	220億円
カツオ マグロ		全国18位 全国21位 0.6%	204億円
真珠	✓	- -	171億円
イワシ類		全国9位 4%	74億円
観賞用魚 (金魚除く)		- -	60億円
タイ類	✓	全国13位 2%	50億円
サケ・マス		全国13位 0.0%	35億円
ナマコ		全国19位 0.3%	25億円
スケトウダラ		全国19位 0.0%	20億円

日本からの輸出額上位10位

千葉県の漁獲量が多い魚種

有望品目	国の輸出 重点品目	千葉県産出額 (2021, シェア%)	日本産の輸出額 (2021, 億円)
イセエビ		全国2位 16.2%	0.4億円
キンメダイ		全国1~2位 約30%*	データなし
スズキ		全国1位 29.1%	0.4億円
タチウオ		全国10位 7.1%	データなし
アワビ		全国1位 17.0%	1億円
ヒラメ カレイ		全国15位 2.0%	0.04億円
サンマ		全国8位 2.6%	6億円
アジ		全国14位 1.6%	50億円
天然ブリ	✓	全国1位 13.6%	データなし
アナゴ		全国8位 4.8%	データなし

出所: zisseki-21.pdf (maff.go.jp)、財務省貿易統計、海面漁業・養殖業、海面漁業(2021年)、*水産庁(2018) **食品データ館(2019)

(参考) 県産農林水産物のポテンシャル

その他、米、鶏卵、植木、切花等が輸出ポテンシャル品目と考えられます。

有望品目	国の輸出 重点品目	千葉県産出額 (2021, シェア%)	日本産の輸出額 (2021, 億円)
米	✓	全国8位 3%	59.3億円
米粉	✓	データなし	0.67億円
米菓		データなし	56.4億円
牛肉	✓	全国20位 1%	536.8億円
※輸出認定を受けた食肉センターの整備が必要			
豚肉	✓	全国5位 6%	20.1億円
※豚熱の清浄化が条件			
鶏肉	✓	全国16位 3%	13.0億円
牛乳	✓	全国5位 3%	243.9億円 (牛乳・乳製品)
チーズ		データなし	データなし
鶏卵	✓	全国6位 4%	58.7億円
植木		データなし	69.3億円
切花	✓	全国3位 5%	13.4億円

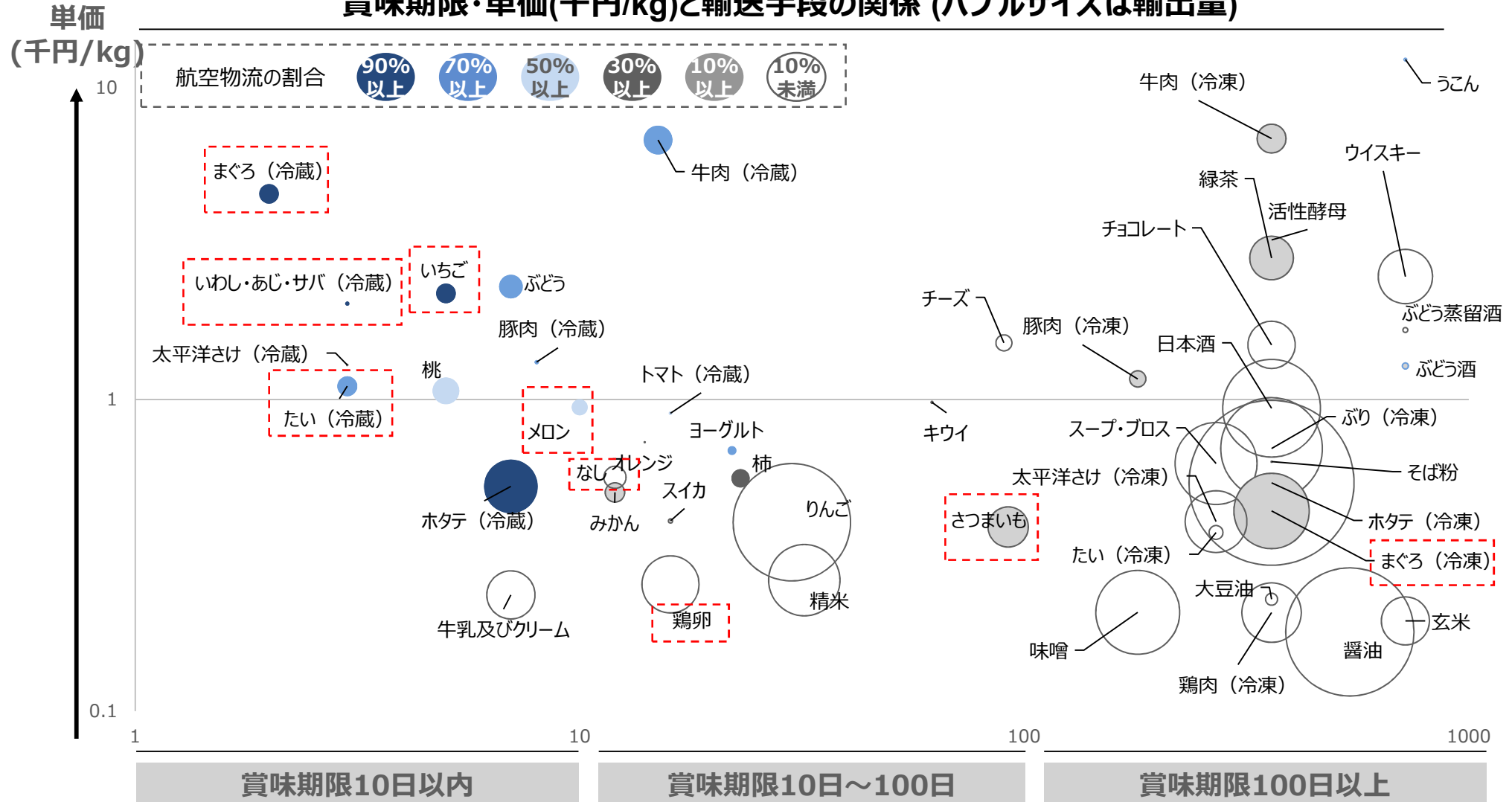
米・畜産・花き

(参考) 海上/航空輸送品目実態 ~賞味期限・単価と輸送手段の分析

賞味期限が短く鮮度保持が課題となりやすい品目で、単価が高いものほど航空輸出の割合が高い。

千葉輸出ポテンシャル品目

賞味期限・単価(千円/kg)と輸送手段の関係 (バブルサイズは輸出量)



出所:財務省貿易統計、賞味期限はアクセンチュア社デスク調査に基づく

第2章 千葉県産農林水産物の輸出ポテンシャル等

2 輸出ターゲット国・地域

千葉県の輸出ポテンシャル品目をどの国に輸出するのが良いのか、について

- (1) 各国・地域の日本からの輸入額（現状の日本産品マーケットの大きさ）
- (2) 日本からの輸入の伸び（日本産品マーケットの成熟度）
- (3) 外国からの輸入の伸び（海外産品マーケットの可能性）

加えて、

- (4) 県内事業者の輸出実績や関心を掛け合わせて分析

⇒以上より、千葉県の輸出ターゲット国・地域は以下のとおりです。

全般：台湾、マレーシア、タイ、北米

水産物：上記に加え、ベトナム、EU、中東

水産物以外：上記に加え、香港

※上記以外に、大型量販店との連携を踏まえた特定のターゲット国・地域を定めることも有効です。

(参考) 輸出ポテンシャル品目とターゲット国・地域

◎市場大、○市場中、△市場小、-不明

市場が伸びている

◎既に県事業者が定期的に輸出

○県事業者がスポットで参入 ×(ほぼ)未参入

県事業者関心が高い

	中国・香港		台湾		シンガポール		マレーシア		タイ		ベトナム		北米		豪州		EU		中東	
	規市場	状県内	規市場	状県内	規市場	状県内	規市場	状県内	規市場	状県内	規市場	状県内	規市場	状県内	規市場	状県内	規市場	状県内	規市場	状県内
さつまいも			○	○	○	◎	○	◎	◎	◎	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×
いちご			○	◎	○	○	○	◎	○	◎	△	×	△	○	△	×	△	×	△	×
なし			◎	○	◎	○	△	○	○	×	○	×	○	×	△	△	△	×	△	◎
米			△	×	◎	◎	○	×	○	×	○	×	◎	◎	○	◎	○	×	△	×
米粉			◎	×	○	×	△	×	△	△	○	△	○	×	△	×	△	×	△	×
鮮魚			○	◎	○	◎	△	◎	○	◎	○	◎	○	◎	△	○	△	◎	○	○
冷凍水産 水産加工			○	◎	○	◎	△	◎	○	○	○	◎	◎	◎	△	-	○	◎	○	◎
餌/原料用 冷凍水産			-	×	-	×	-	◎	-	◎	-	◎	-	×	-	×	-	×	-	×
鶏卵	◎	◎	○	×	○	○	△	×	△	×	△	×	△	○	△	×	△	×	△	×
切花	◎	-	△	-	△	-	△	-	△	-	△	-	△	-	△	-	△	-	△	-
成田発便 の優位性	△		◎		○		◎		○		◎		○		△		○		○	

中国・香港向けは処理水の動向を見ながら検討

注：調査結果のうち事業者の輸出実績は、千葉県内で輸出に取り組む事業者等へのヒアリング結果に基づくものであり、千葉県産以外の農林水産物に係るものを含む

第3章 成田市場、成田空港を活用した輸出の現状と課題

1 成田空港と羽田空港の便の優位性比較 ※2023冬国際航空便ダイヤ・毎日運航便データに基づく 北中米、台湾、フィリピン、ベトナム、インドネシア、UAE、モンゴルで成田優位。

便数/週	羽田	成田	計	備考	成田市場入居者等のターゲット
米国 ※都市の優位性	242	179	421	成田発のみ、かつ、毎日就航しているのは グアム、デンバー、ボストン	◎
韓国	97.5	246	343.5		
中国	158	170.5	328.5	成田発のみ、かつ、毎日就航しているのは ハルビン、寧波、瀋陽、杭州	
台湾	70	134.5	204.5	成田-桃園、羽田-松山、現地倉庫が 桃園 充実しているため成田優位	◎
香港	48.5	98.5	147	羽田朝便で現地当日レストラン着がスタンダード、成田は朝便搬入困難	
フィリピン	28	91	119	成田発のみ、かつ、毎日就航しているのは クラーク、セブ	
ベトナム	28	82	110	成田発のみ、かつ、毎日就航しているのは ダナン	◎
タイ	42	49	91		◎
シンガポール	49	42	91		◎
オーストラリア	42	17.5	59.5	シドニー便は羽田のみ、他も羽田優位	
マレーシア	11.5	29	40.5		◎
インドネシア	15.5	24	39.5	成田優位、 テンパサル は週6便、成田発のみ	◎
ドイツ	31	7	38		
カナダ	14	21	35	成田優位 (モントリオール は週4便、成田のみ)	
フランス	22	8	30	羽田優位	
イギリス	30		30	羽田優位	
インド	14	10	24	羽田優位	
UAE	7	14	21	成田発のみ、かつ、毎日就航しているのは アブダビ	◎
カタール	7.5	7	14.5	成田羽田同等	
メキシコ		14	14	成田発のみ、かつ、毎日就航しているのは メキシコシティ	
フィンランド	9.5	4	13.5		
トルコ	7	4	11		
モンゴル		8	8	成田発のみ、かつ、毎日就航しているのは ウランバートル	
ニュージーランド		7	7		

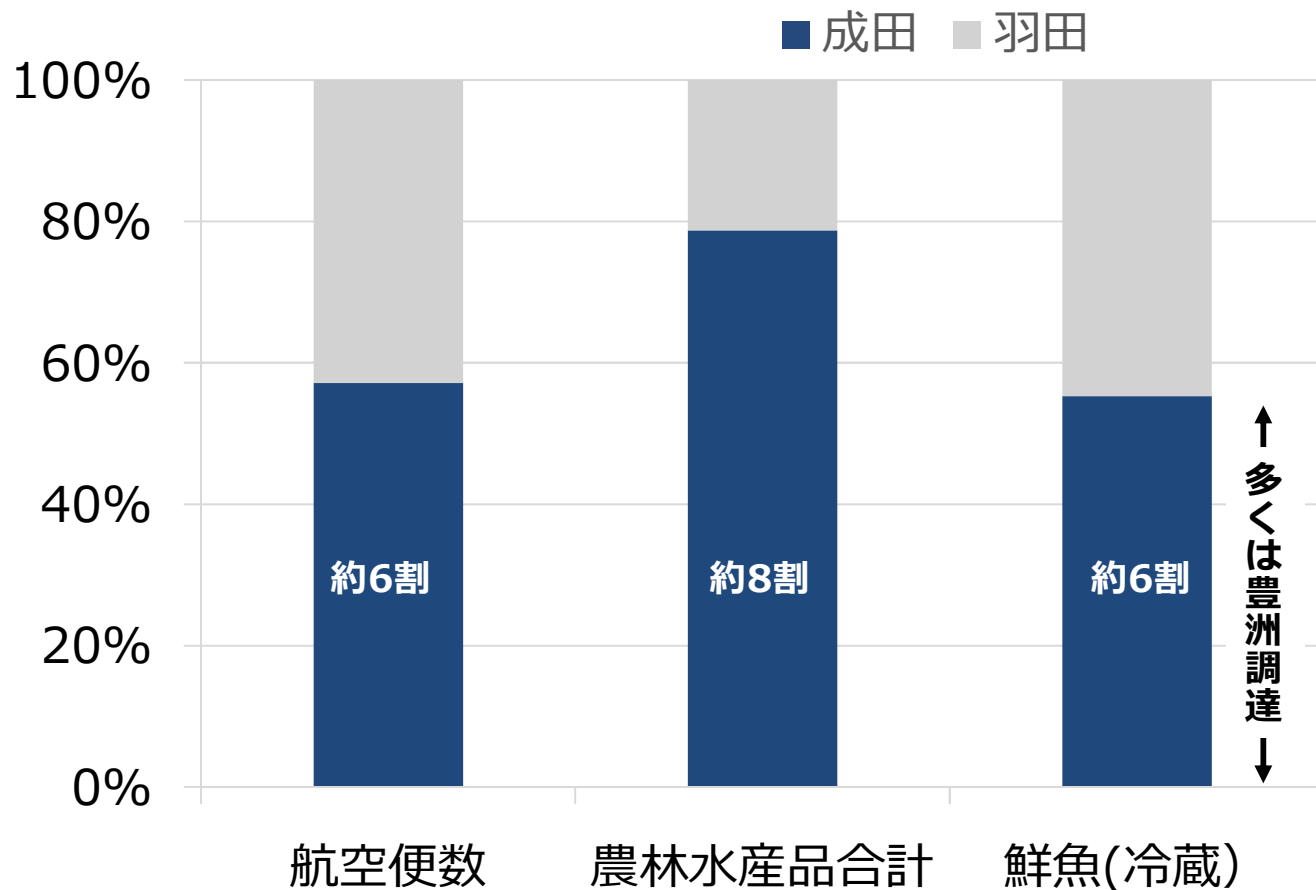
※カンボジアへの直行便はなく、タイ、ベトナム、シンガポールを経由する必要。

第3章 成田市場、成田空港を活用した輸出の現状と課題

2 成田空港と羽田空港からの輸出実態比較

成田空港は国際航空便数が多く、農林水産物の8割は成田空港から輸出されています。鮮魚の6割は成田空港から輸出されているが、豊洲市場のキャパシティに限界があり、成田市場の利便性が向上すれば、成田市場からの輸出拡大が見込めます。

成田・羽田空港からの国際線の便数及び農林水産物・鮮魚の輸出額の比率



豊洲市場の
キャパシティには
限界有

成田市場の
利便性向上
↓
成田市場からの
輸出拡大

第3章 成田市場、成田空港を活用した輸出の現状と課題

3 成田市場を活用した輸出の現状と課題

成田市場拠点の輸出者による輸出拡大に向けては商流構築が課題

大田・豊洲市場拠点の仲卸等の成田市場の活用を促進するためには

青果 = 成田市場の利便性向上が鍵、水産 = 輸出環境の整備が必要。

	輸出会社	成田市場での作業内容			輸出拡大に向けた検討事項	
		卸を通じた集荷 (市場便)	梱包・加工	パレタイズ 通関		
↑ 成田拠点	青果	シティ青果成田(卸)	○	○	} 商流構築 物流効率化	
		輸出実績のある仲卸	△	○		
		輸出実績のない仲卸	○	×		×
↓	水産	大都魚類(卸)	○	×		×
		輸出実績のある仲卸	△	○		○
		輸出実績のない仲卸	○	×		×
↑ 成田以外	青果	輸出実績のある仲卸A	△	○	} シティ青果成田の 機能・サービスの利用等	
		市場外の輸出事業者	×	×		○
	水産	豊洲市場と成田市場拠点をもち、 中規模に輸出している仲卸B	今後○	今後○	今後○	} 製氷機等 EU HACCP
	豊洲市場で大規模に輸出 している仲卸C	今後△	今後○	○		

第4章 新たな千葉県の輸出活性化取組方針

- 1 輸入規制に対する対応
- 2 生産段階の支援：輸出ポテンシャルを踏まえた輸出産地形成に向けた支援
- 3 流通段階の支援：最適な輸出物流構築に向けた取組支援
- 4 販売段階の支援：輸出ステージ等を踏まえた戦略的販路拡大支援
- 5 成田市場、成田空港を活用した輸出促進

第4章 新たな千葉県の輸出活性化取組方針案

1 輸入規制に対する対応

ALPS処理水放出等に伴う輸入規制に対する対応

千葉県産農林水産物については、原発事故やALPS処理水放出に伴い、輸入停止や放射性物質検査の義務付けなどの規制措置を実施している国・地域があります。

県としては、**国を通じて規制措置の即時撤廃を強く求めるとともに、機会を捉え、直接の要請活動も実施**します。

また、国や関係機関と連携し、関係事業者**に迅速かつ正確に情報提供**を行います。

第4章 新たな千葉県の輸出活性化取組方針案

2 生産段階の支援

輸出ポテンシャルを踏まえた輸出産地形成に向けた支援

千葉県の輸出ポテンシャルの高い農林水産物の輸出を拡大するためには、
輸出向けの生産を拡大することが必須です。

輸出向けの生産とは、

- (1) 衛生基準、農薬や園地登録といった輸出特有の基準に対応すると同時に、
- (2) 競争力のある価格実現のための低コスト生産への転換
- (3) 他県・他国と差別化し、付加価値がつく品種の選定とその品種への転換

を進めることであり、**まとまった量で輸出ができるように生産者等を支援**します。

※前提として、まとまった農地の確保が必要

なお、輸出に適する千葉県オリジナル品種等の開発の検討を行うとともに、
県オリジナル品種の海外での品種登録について、適切に対応します。

第4章 新たな千葉県の輸出活性化取組方針案

3 流通段階の支援

最適な輸出物流構築に向けた取組支援

輸出にあたっては、国内販売よりも長いサプライチェーンになるため、農林水産物の鮮度や品質を保つためのコールドチェーンの確保や輸送コストの低減が肝要です。

具体的には、輸出ポテンシャル品目、ターゲット国・地域を踏まえた

- (1) 輸送手段の選定（海上/航空）
- (2) 収穫時期、梱包方法等の検証及びその普及
- (3) 効率的な集荷ルート等の実証など、

最適な輸出物流構築に向けた必要な支援を行います。

第4章 新たな千葉県の輸出活性化取組方針案

4 販売段階の支援

輸出ステージ等を踏まえた戦略的販路拡大支援

輸出拡大にあたっては、輸出に対応した生産拡大とともに、

輸出ステージを踏まえた継続的かつ戦略的な販路拡大が重要です。

具体的に輸出ステージとは、（１）海外ニーズ調査、（２）生産環境整備（規制対応や品種転換）、

（３）テスト輸送、（４）輸出開始・運用改善、（５）安定輸出・更なる販路開拓

であり、**輸出に取り組む事業者の段階に応じた販路拡大支援を**

輸出ポテンシャル品目、ターゲット国・地域を踏まえて、継続的に行います。

また、輸出スタートアップ事業者に対する伴走型支援を実施し、輸出事業者の裾野を拡大します。

なお、プロモーションの際には、ターゲット国・地域を踏まえた戦略的なコンセプト、

それに合致するパッケージデザイン等に留意することとします。

輸出活性化に向けた今後6年間の取組の方向性

ニーズ調査

品種改良
規制対応

テスト輸送
テスマケ

輸出開始
運用改善

安定輸出

該当する品目・取組の例

2024年

2029年

既存ルート
の拡大
(品目×国・地域)

さつまいも
鮮魚・冷凍水産

さつまいも
鮮魚, 餌用/缶詰
原料用冷凍水産

安定輸出 (先方要望対応・改善のPDCA / 生産拡大等、以下同じ)
安定輸出 (漁獲高に輸出量が依存)

マーケットイン
加工が必要な
品目

冷凍焼き芋
水産加工
花き・米粉

冷凍焼き芋
高度水産加工
花き・米粉

運用改善
テスト輸送
安定輸出
ニーズ調査
試作/開発/テスマケ
運用改善
安定輸出

規制対策/産
地登録等が
必要な品目

青果物(いちご・
なし・さつまいも)
農薬規制/施設登録が
必要な品目・仕向け地

台湾向け青果
タイ向けなし等

農薬対応
テスト輸送
安定輸出
ニーズ調査
施設登録
運用改善
テスト輸送
安定輸出

⊕
細かい計画作り
が必要な品目

いちご・なし・米
ニーズ把握のうえ既存品
種では勝ち筋が見えな
い品目

多収量の米
高付加価値
いちご・なし

一部、既存輸出分の量を継続的に輸出
安定輸出
品種改良チーム作り 及び 拡大
仕向地
により
規制
対応
運用改善
安定輸出
ニーズ調査
品種改良
テスト輸送

複雑な認証が
必要な品目

EU向け鮮魚・水産加工品

施設登録
ニーズ調査
テスト輸送
安定輸出
運用改善

↑モデルルート候補↓

実証・販路開拓が必要

⊕
細かい計画作りが必要

第4章 新たな千葉県の輸出活性化取組方針

5 成田市場、成田空港を活用した輸出促進

市場の卸売機能に加え、衛生管理の整った加工施設や日本初のワンストップ輸出拠点機能を備えた成田市場、豊富なネットワークを有する成田空港を活用した輸出拡大を図ります。

具体的には、

- (1) 成田市場で輸出に取り組む事業者の商流構築支援**
- (2) 輸出拡大に伴い新たな必要性が生じている輸出環境整備**
- (3) 他市場等で輸出に取り組む事業者の成田市場活用に向けた施策の検討**
- (4) 成田市場、成田空港周辺などにおける輸出産地形成**
- (5) 訪日外国人等のニーズに合わせた農林水産物の販売と輸出への展開に向けた検討**

を 成田市等と連携しながら行います。